

1 Mbox ビューアヘルプ

まず、パッケージに付属のユーザー ガイドを確認するか、Mbox Viewer ウィンドウ内の任意の項目を右/左クリックおよびダブルクリックして、表示されるすべてのオプションを試してください。

開始するには、mbox メール アーカイブをローカル フォルダーにインストールし、mboxview 実行可能ファイルをインストールして左ダブルクリックし、[ファイル]->[フォルダーの選択] メニュー オプションを選択してそのフォルダーを開きます。

2 メール印刷の概要

Mbox Viewer は、すべてのメール、単一メール、または複数のメールを CSV、テキスト、HTML、PDF ファイルおよび PDF プリンターに直接印刷することをサポートします。

HTML ファイルに印刷されたメールを開いて、任意の Web ブラウザからメールを PDF に印刷することもできます。

デフォルトでは、追加の構成や手動の手順なしで、すべてのメール、単一または複数のメールが単一の CSV、テキスト、HTML、および PDF ファイルに印刷されます。

ただし、1つのファイルに効率的に印刷できるメールの数には制限があります。

次のセクションでは、これらの制限と代替ソリューションについて説明します。

2.1 CSV スプレッドシートファイルへのメール印刷

Mbox Viewer は、選択したメールの「選択したメールを印刷 → CSV」オプションを使用して、すべてのメールまたは選択したメールのグループを単一の CSV ファイルに印刷することをサポートしています。

すべてのメールを単一の CSV ファイルに出力できますが、特定のスプレッドシートツールでは、サポートされるスプレッドシートファイルの最大サイズが制限される場合があります。回避策として、複数のメールをまとめて別々の CSV ファイルに出力することも可能です。

2.2 メールをテキストファイルに印刷

Mbox Viewer は、選択したメールの「選択したメールを印刷 → テキスト」オプションを使用して、すべてのメール、単一または選択したメールのグループを単一のテキスト ファイルに印刷することをサポートします。

すべてのメールを単一のテキストファイルに出力できますが、特定のテキストビューアツールでは、サポートされるテキストファイルの最大サイズが制限される場合があります。回避策として、複数のメールをまとめて別々のテキストファイルに出力することも可能です。

ユーザーは、「ファイル -> 印刷設定」を介して印刷に次のオプションを適用できます。

1. 各メールの後またはメールの会話スレッドの後に改ページを挿入します。

生のメールメッセージには通常、プレーンテキストと HTML テキストの両方の形式でユーザーメッセージが含

まれていることに注意してください。プレーンテキストが存在する場合はそれが使用され、そうでない場合は HTML テキストからテキストが抽出されます。ユーザーのメールクライアントアプリケーションは、両方のテキスト部分が存在する場合、それらが意味的に同等であることを保証する責任があります。

2.3 HTML ファイルへのメール印刷

Mbox Viewer は、選択したメールの「選択したメールを印刷 → HTML」オプションを使用して、すべてのメール、単一または選択したメールのグループを単一の HTML ファイルに印刷したり、メールごとに個別の HTML ファイルに印刷したりすることをサポートします。

アーカイブメールはすべて単一の HTML ファイルに出力できますが、HTML ビューアツールや Web ブラウザは、生成された大きな HTML ファイルを処理できず、非常に遅くなったり、完全に過負荷になったりする可能性があります。回避策として、複数のメールをまとめて別々の HTML ファイルに出力することができます。

1 つの HTML ファイルに何通のメールを印刷し、Web ブラウザで閲覧できるかという明確なルールはありません。メールのサイズと内容（大量のグラフィックやハイパーリンクの数など）によって異なります。1 つの HTML ファイルに、数百通程度の小～中サイズのテキストメールを印刷することは可能でしょう。

メールは、メールの PDF への印刷セクションで説明されているように、さらに処理するためにメールごとに個別の HTML ファイルに印刷できます。

2.4 プリンターへのメール印刷

Mbox Viewer は、選択したメールに対して「選択したメールを印刷 → プリンター」オプションを使用して、すべてのメール、単一または選択したメールのグループをプリンターおよび PDF プリンターに印刷することをサポートします。

PDF プリンターに印刷する場合、そのコンテンツを印刷するには Microsoft HTML ドキュメント オブジェクトを使用します。

まず、Mbox Viewer はメールを単一の HTML ファイルに印刷し、次にそのファイルを HTML ドキュメント オブジェクトに読み込み、そのコンテンツを印刷するようにドキュメント オブジェクトに要求します。

印刷できるメールの最大数に関する制限については、上記の「メールを HTML ファイルに印刷する」セクションで説明されています。

「ファイル → 印刷設定 → ページ設定」ダイアログオプションを使用すると、ページタイトル、ヘッダー、フッター、背景色を制御できます。また、「ファイル → 印刷設定 → 印刷プレビュー」オプションを有効にすると、各メールを印刷する前にページ設定を開くことができます。

デフォルトでは、メールを PDF ファイルに印刷するための PDF プリンターを選択するように求められます。

PDF プリンタがデフォルトのプリンタとして設定されている場合、ユーザーは「ファイル → 印刷設定 → プロンプトを表示しない」ダイアログ オプションを設定して、プリンタのプロンプトをスキップできます。

2.5 PDF ファイルへのメール印刷

Mbox Viewer は、選択したメールに対して「選択したメールを PDF に印刷」オプションを使用して、すべてのメール、単一メール、または複数のメールを PDF ファイルに印刷する複数の方法をサポートしています。

デフォルトでは、すべてのメール、単一または選択したメールが単一の HTML ファイルに印刷され、その後 PDF 形式に変換されます。

デフォルトの方法では、前のセクションで説明したように、1つの HTML ファイルに効果的に印刷できるメールの数を制限します。

よりスケーラブルな方法については、「パワー ユーザーによる PDF ファイルへのメール印刷」セクションで説明します。

2.6 Chrome または Edge ブラウザを活用してメールを PDF ファイルに印刷する

Mbox Viewer は、ユーザーの操作なしでメールを PDF ファイルに直接印刷するオプションをサポートしています。

PDF ファイルに直接印刷すると、HTML ファイルを PDF に変換する外部アプリケーションが呼び出されます。

ユーザーは印刷に次のオプションを適用できます。

1. 各メールの後またはメールの会話スレッドの後に改ページを挿入します。
2. デフォルトの（ブラウザによってハードコードされた）ヘッダーとフッターの印刷を有効にします。ただし、デフォルトのヘッダーとフッターはユーザーの要件を満たさない可能性があります。
3. メール ヘッダーの背景色を有効/無効にします。

デフォルトでは、標準の Microsoft Edge ブラウザ（いわゆるヘッドレスモード）が変換処理に使用されます。ユーザーは Microsoft Edge の代わりに Google Chrome ブラウザを設定することもできます。どちらのブラウザも同じ機能を備えています。

2.7 Chrome または Edge ブラウザから PDF ファイルへのメール印刷

ユーザーは、1通以上のメールを HTML ファイルに印刷し、生成されたファイルをブラウザで開き、ブラウザから PDF ファイルに印刷するオプションを選択できます。この方法により、「白黒印刷」などの印刷に関する詳細な設定を適用できます。

2.8 wkhtmltopdf を使用した PDF ファイルへのメール印刷

無料の wkhtmltopdf アプリケーションを利用して HTML を PDF に変換するオプションが提供されています。

ヘッドレス モードの標準 Chrome および Edge ブラウザでは、ページ タイトル、ヘッダーとフッター、背景色を制御するオプションがサポートされていないため、wkhtmltopdf を活用するオプションが提供されています。

ユーザーは、「ファイル -> 印刷設定 -> ユーザー定義スクリプトへのパス」を設定して、リリース パッケージに含まれる HTML2PDF-single-wkhtmltopdf.cmd スクリプトを呼び出すことができます。

HTML2PDF-single-wkhtmltopdf.cmd スクリプトは、右フッターに「合計ページ数のページ」があり、ページ タイトルとヘッダーがない PDF ファイルを作成します。

wkhtmltopdf は、wkhtmltopdf.org のダウンロードからダウンロードできます。

wkhtmltopdf のコマンドライン オプションについては、wkhtmltopdf.org の使用法に記載されています。

ユーザーは、HTML2PDF-single-wkhtmltopdf.cmd を新しいファイルに複製し、カスタマイズして、商用の可能性のあるさまざまな HTML から PDF へのコンバーターを活用できます。

ユーザーは、「ファイル -> 印刷設定」ダイアログの「ユーザー定義スクリプトへのパス」を更新して、新しいスクリプト パスを指すようにする必要があります。

ユーザーは、「ファイル -> 印刷設定」を介して印刷に次のオプションを適用できます。

1. 各メールの後またはメールの会話スレッドの後に改ページを挿入します。
2. メール ヘッダーの背景色を有効/無効にします。

2.9 マージオプションを使用して PDF ファイルにメール印刷する

MBox Viewer は、すべてのメールのヘッダーとコンテンツを単一の HTML ファイルに結合し、Edge または Chrome ウェブブラウザに HTML ファイルを PDF に変換するよう要求します。MBox Viewer のデフォルトのソリューションは非標準であり、まれにすべてのメールのフォントサイズやその他の書式設定に影響を与える可能性があります。生成された PDF ファイルが期待どおりでない場合は、「結合」オプションの実行を検討してください。

ユーザーは、選択したメールで「選択したメールを印刷 → PDF -> **結合**」オプションを選択することで、選択したメールを 1 つの PDF ファイルに印刷できます。

MBox Viewer は、選択したメールを個別の PDF ファイルに印刷し、無料の PDFBox Java ツールを使用してすべての PDF ファイルを 1 つの PDF ファイルに結合します。

MBox Viewer は、マージリクエストを処理するために HTML_GROUP サブフォルダを作成します。例: F:\DataFolder2\MBoxViewer\F\MBOX\apache-mbox\PrintCache\ **PDF_GROUP**

MBox Viewer は、そのディレクトリ内のすべての PDF ファイルを生成し、いくつかのヘルプ ファイル、スクリプト、およびログ ファイルを作成します。

大量のメールを別々の PDF ファイルに印刷するのは時間がかかります。メールのサイズや内容（主にハイパーリンク）によっては、1 つの PDF ファイルの作成に数分の一秒、あるいは数十秒かかることもあります。

PDF ファイルを結合するための無料の PDFBox Java ツールを呼び出すスクリプトを作成しました。

pdfbox.apache.org からダウンロードできます。PDFBox コマンドライン Java ツール (pdfbox-app-3.0.0-alpha3.jar など) は、MBox Viewer バイナリファイルと同じディレクトリに配置する必要があります。

PDFBox コマンドライン ツールの使用例 pdfbox.apache.org コマンドライン ツール。

jdk8-downloads からダウンロードできます。

3 詳細検索の概要

詳細検索ダイアログでは、複数のフィールドを使用してより多くの情報を作成できます。複雑な検索条件。

最も一般的なケースでは、検索ロジックはハードコードされており、次のようになります。

(一方向または双方向の送信元と宛先)、件名、CC、BCC、(メッセージまたは添付ファイル)

検索条件は基本的に、チェックされたすべてのフィールド、または（送信元と宛先）や（メッセージと添付ファイル）などのフィールドのペアの AND 演算です。チェックされていないフィールドは無視されます。

詳細検索ダイアログでは、From と To の関係を双方向または一方向として指定することができ、結果は他の検索条件と AND 演算されます。
チェックされたフィールド。

メッセージと添付ファイルは OR 式として処理され、結果は他のチェックされたフィールドと AND 演算されます。

ユーザーが選択したメールリストを活用することで、より複雑な検索条件を実現できます。ユーザーは「詳細検索」を複数回実行し、結果を「ユーザーが選択したメールリスト」に統合できます。

4 データディレクトリ構造

MBox Viewer は、ユーザーが設定したデータ ディレクトリを作成し、それを「印刷...」やすべてのメールを eml ファイルとしてエクスポートするなど、Mbox Viewer によって作成されたファイルやサブフォルダのターゲット ディレクトリとして使用します。

ユーザーは、「ファイル -> データ フォルダー構成」ダイアログを実行してデータ ディレクトリを構成します。

MBox Viewer は、次のように各メール アーカイブ ファイルごとにフォルダー ディレクトリとサブディレクトリを作成します。

MboxFilePath = F:\Account\Inbox.mbox と仮定

ディレクトリは次のように作成されます。

ディレクトリ=UserSelectedDataFolder\MBoxViewer\F\Account\Inbox-mbox

「.mbox」拡張子が存在する場合は、「-mbox」にマッピングされます。

MBox Viewer は必要に応じて次のディレクトリを作成します。

ディレクトリ - mbox メール インデックス ファイル、ヘルプ HTML ファイル、およびさまざまなサブディレクトリのターゲット ディレクトリ
ディレクトリ\受信トレイ.mbox
ディレクトリ\Inbox.mbox.mboxview
DIRECTORY\Inbox-mbox\ImageCache - メールに埋め込まれた png、jpg などの画像ファイルのターゲットディレクトリ
DIRECTORY\Inbox-mbox\AttachmentCache - 添付ファイルのターゲットディレクトリ
DIRECTORY\Inbox-mbox\EmlCache - Eml ファイルのターゲットディレクトリ
DIRECTORY\Inbox-mbox\ArchiveCache - 見つかったメールとユーザーが選択したメールを mbox および mboxlist ファイルに保存するためのターゲット ディレクトリ
DIRECTORY\Inbox-mbox\PrintCache - 単一の CSV、TEXT、HTML、PDF ファイルに印刷するためのターゲットディレクトリ
DIRECTORY\Inbox-mbox\PrintCache\PDF_GROUP - 個別の PDF ファイルに印刷するためのターゲットディレクトリ
DIRECTORY\Inbox-mbox\PrintCache\PDF_GROUP\PDF_MERGE - 結合された PDF ファイルのターゲットディレクトリ
DIRECTORY\Inbox-mbox\PrintCache\PDF_GROUP\PDF_MERGE\PDF_MERGE - 複数の結合手順が必要な場合の結合された PDF ファイルのターゲット ディレクトリ
DIRECTORY\Inbox-mbox\PrintCache\HTML_GROUP - 個別の HTML ファイルに印刷するためのターゲットディレクトリ
DIRECTORY\Inbox-mbox\PrintCache\HTML_GROUP\PDF_MERGE - 結合された PDF ファイルのターゲットディレクトリ
DIRECTORY\Inbox-mbox\PrintCache\HTML_GROUP\PDF_MERGE\PDF_MERGE - 複数の結合手順が必要な場合の結合された PDF ファイルのターゲット ディレクトリ
ディレクトリ\PrintCache\MailArchiveFile2
DIRECTORY\LabelCache - ラベルファイルとサブフォルダのターゲットディレクトリ
DIRECTORY\MergeCache - 「ファイル-->マージするルートフォルダを選択」を選択したときに作成される中間ファイルのターゲットディレクトリ

Mbox Viewer は一時ディレクトリの作成と管理も行います

C:\Users\ユーザー名\AppData\Local\Temp\MboxViewer

ユーザーが 1 つのメールを選択したときに作成される一時ファイル (添付ファイル、eml および htm) を保存します。

MailListsInfo.htm や MboxviewerHelp.htm などの Mbox Viewer が作成したヘルプファイルは一時ディレクトリに保存されます。

C:\Users\UserName\AppData\Local\Temp\mboxview\MboxHelp。